

建築施工技術講習会

— 集合住宅を主体とした建築施工図のチェックポイント —

社団法人
東京建設業協会

施工図は、単に設計図書を具体的に表現し直すだけでなく、施工管理者として施工方法を踏まえて、竣工後も施工クレームに繋がらないように実際に施工できる内容を表現する必要があります。したがって、その内容は発注者のニーズと共に設計者・監理者とよく連携をとって作図するものです（施工図と竣工図の合致）。

本講習会では、集合住宅を例にある程度作成された工種別の施工図だけでなく、他の工種との取合いをも考慮した施工の具体的方法を表示して、監理者の最終承認を得るべき内容について要点を紹介します。（作図上の注意点が主体で、一般の描き方までは行いません。）

開催日時

平成21年6月16日(火) 13時～17時（12時30分より受付開始）

対象

現場の施工図担当者（チェック及び施工管理技術者）

内容

1. 集合住宅に関する設計・施工上のクレームの概要
2. 社会的・法的制約事項と設計・施工条件
3. 設計図書内容の確認
 - ・要求品質（発注者ニーズ、設計者ニーズ）の理解
 - ・設定品質の確認
4. 施工計画及び施工図の重要性について
 - ・施工方針・施工計画の立案
 - ・総合図・施工図の作成と具体的調整
5. 施工図作成チェックの要点
 - ・施工管理の道具としての工種別（建築・構造・仕上・設備）の重要事項の説明。

講師

NPO建築技術支援協会 柳川 裕氏
（元 ㈱竹中工務店TQM主管、一級建築士）

受講料

- 東京建設業協会会員 無料
- 非会員 5,000円（税込・当日受付にてお支払いください）

